

ず～むあっぷ☆

オホーツク

コスモス 遠軽町

2019年

10月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

美幌峠育ち！

健康な牛の生乳を活かした食を消費者に届けたい！

有限会社ワタミファーム美幌峠牧場

有限会社ワタミファームは、大手外食チェーンのワタミ株式会社が、消費者に安全・安心な農畜産物の提供と有機農業の実践による循環型地域社会の創造を目的に2002年に設立した農業生産法人で、北は北海道から南は九州まで全国9か所で有機野菜や有機畜産物などの生産を行っています。

美幌峠牧場は、生産から加工・販売までを行う6次産業化により「食を通じて“ありがとう”を集める」という理念のもと、2013年から美幌町の公共預託牧場を借り受けて酪農事業を開始し、2018年から自社の弟子屈牧場と統合して乳牛の飼養頭数を拡大しました。ホルスタインを夏場に放牧飼育し、子牛の頃から穀物飼料は一切与えず、自家生産の牧草を中心とした粗飼料を給与しています。↗

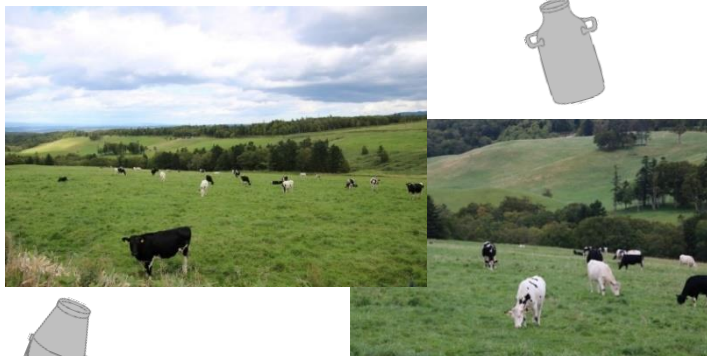


約280haの広大な敷地です



福村牧場長

「このような飼育方法によって、「牛の病気が少なく健康的に飼育できている。」と教えてくれたのは牧場長の福村拓也さん。福村牧場長は元々、本社ワタミの食肉仕入担当でしたが、美幌峠牧場の前身である弟子屈牧場に配属になり、初めて肉牛・乳牛の飼養に挑戦。初めは分からないことばかりでとても苦労されたそうですが、現在は9名の従業員や実習生、そして360頭の乳牛を率いる牧場長としてご活躍されています。



のびのびと放牧しています

現在、生産した生乳の一部は、美幌町内の食品会社でベシャメルソースに加工され、自社の外食店で消費者に提供しています。今後は、更なる6次産業化や、見晴らしが良く素晴らしい牧場の景観を活用した取組なども検討されているそうです。新しい挑戦をし続ける美幌峠牧場に今後も注目していきたいと思えます。



健康な牛たちが約360頭います

北見地産地消フェスタ2019に参加しました

9月7日(土)、北見市・きたみらい農業協同組合など16の組織等で構成される北見市地産地消推進委員会は、地場農林水産商品の消費拡大を図ること等を目的に、北見芸術文化ホール前で「北見地産地消フェスタ2019」を開催しました。

北見地域拠点では、「地域の6次産業化の取組紹介」のブースを出展しました。主に北見市内で6次産業化に取り組まれている事業者の方々についてパネルで紹介するとともに、実際に地元スーパー等で販売されている商品の展示を行いました。

お立ち寄りいただいた方々は、説明に熱心に耳を傾けていただき「この商品見たことある」といった声も聞かれました。

好天にも恵まれ、フェスタに参加された方々は、特産品の購入や食を通じて地域の魅力を再発見しているようでした。

パネル展示



ブースの様子



商品展示



「食料・農業・農村基本計画」へのご意見・ご要望の募集について

農林水産省では、新たな食料・農業・農村基本計画に関して、国民の皆様からのご意見・ご要望を募集しています。

今後の議論に活用していきたいと考えておりますので、奮ってご投稿ください。

ご意見・ご要望の提出方法は、下記リンク先をご覧ください。

また、北見地域拠点においてもFAXまたは郵送にて受け付けます。

※電話や口頭によるご意見等は、聞き間違い等を避けるため受け付けておりません。

投稿先リンク：http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html#ikenbosyu

編集後記 暑かった夏も終わり、季節はもう秋ですね。いろいろな「〇〇の秋」が秋の代名詞としてありますが、私はもちろん「食欲の秋」です。これから各地で開かれる収穫祭やイベントを楽しみにしています。(かし)

編集：農林水産省 北海道農政事務所 北見地域拠点
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358
北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>